

◆ 社員の心身を支える職場

トモエ乳業㈱は育児休暇取得100%。社長自ら結果の確認を行う健康診断や栄養バランスの良い社食などで社員の心身の健康を積極的にサポートしています。社員が意欲的に働ける環境が整っていると感じました。



大学1年
木村百花さん
訪問先:トモエ乳業㈱
古河市役所

◆ 高水準のWLBを実現

三桜工業㈱は、WLBを非常に重視していると感じました。男性育休取得率91.3%は日本平均を大きく超え、意識の高さを感じました。社内託児所などの充実が、私生活の充実と仕事の質を高める好循環を生んでいると感じました。



高校2年
荒井琉煌さん
訪問先:三桜工業㈱

◆ ダイバーシティとキャリア

三桜工業㈱への訪問を通し、高い男性育休取得率などWLBの充実を確認しました。多様性が人の可能性を広げ、社会を良くすると実感しました。今後は、多様な人々と協力し貢献できる人材を目指したいと思います。



高校2年
稲毛田美音さん
訪問先:三桜工業㈱

◆ 現場に根ざすダイバーシティ

三桜工業㈱の外国籍社員への配慮や高い育休取得率など、多様な人材が働きやすい事例を確認しました。女性管理職比率には課題は残るものの、こうした取り組みが企業の持続的成長の基盤を築くと感じました。



高校2年
高津戸奈芭さん
訪問先:三桜工業㈱

◆ 多様な働き方の可能性

市役所訪問を通じ、男性の育休推進やフレックスタイム制の導入など、多様な働き方を実感しました。ダイバーシティ意識を持って就活に臨むとともに、古河市の魅力発信にも貢献したいと感じました。



大学3年
梅本杏菜さん
訪問先:古河市役所

◆ 自分の目標とキャリアを考える

「どういう目標に向かって計画を立てるか、また目標に向かって行く中で間違えても修正して人生を歩むことが大切」という職員の話が印象に残っています。職員の生の声を聞いて自分が今後したいことを見つけることができました。



高校3年
草間清那さん
訪問先:古河市役所

◆ 「やりがい」への意識改革

市役所への訪問を通じ、WLBの重要性和仕事の公共性を実感しました。堅苦しいデスクワークのイメージは一変し、地域活性化に貢献する地域行政の仕事を学びました。今後は、地域社会の発展に貢献したいと思います。



大学3年
鈴木華斗さん
訪問先:古河市役所

◆ WLBで実現する職員の安心感

市役所は男性育休が当たり前の雰囲気づくりや復職しやすい体制を整備しています。上司や同僚の温かい協力体制のもと、職員が不安なくキャリアを継続できる環境を推進していると感じました。



高校2年
中村絵里香さん
訪問先:古河市役所

学生による 先進企業訪問報告書
ダイバーシティ推進の最前線



プログラム概要

市内の高校生・大学生が、ダイバーシティやワーク・ライフ・バランス(WLB)を積極的に推進する企業を訪問し、先進的な取り組みを取材、レポートを作成しました。

市は、本プログラムを通じて、学生の進路選択への関心を高め、市民全体の意識向上を目指しています。

スケジュール

8月 訪問前レクチャー
企業訪問(トモエ乳業㈱、三桜工業㈱、古河市役所)

9月 レポート作成&訪問後フォローアップ研修

11月 レポート発表

各企業・団体のダイバーシティやワーク・ライフ・バランス

の取り組みについて学生のレポートをもとにまとめました

トモエ乳業株式会社

◆ 企業プロフィール

- 牛乳・乳飲料などのチルド食品を製造
- 商品は、北海道から沖縄まで全国展開
- 「医食同源」を理念に健康経営を推進



◆ 健康経営と暮らしの支援

現役医師である社長自らが結果に目を通しアドバイスに繋げる手厚い健康サポートに加え、育児休業取得率は男女ともに100%を達成しました。小学校卒業まで利用可能な時短勤務制度や通信教育費の補助など、社員の暮らしに寄り添う制度が、長く安心して働ける環境を築いています。



◆ 改善と対話による職場づくり

ロボットやDXの推進による負担軽減や、特別支援学校と連携した雇用など、誰もが活躍できる環境整備を推進しています。また、部署や役職を超えた対話の機会が豊富で、風通しの良い職場風土も特徴です。「社員を大切にする」姿勢が社員の働きがいと成長を支えています。



古河市役所

◆ 団体プロフィール

- 人口約14万人の暮らしを支える地域行政
- 多様な生き方・価値観を尊重した行政サービスの展開
- 変化する住民ニーズに柔軟な適応力でまちづくりを推進



◆ 互いに支え合う職場文化

男性の育児休業取得や有給休暇取得を推奨する温かい職場風土が定着しています。また、自主研究会、部活動など部署を超えた交流も活発に行われています。制度利用を支える職員間の協力体制が、長期的なキャリア形成を可能にしています。



◆ 活力ある組織とまちづくり

「住みよいまち」は職員の「働きやすさ」から生まれるという考えのもと、市ではワーク・ライフ・バランスを推進しています。職員の心身の健康は、多様化する市民ニーズに応える原動力です。職員が能力を最大限発揮できる職場環境づくりは、市民サービスを向上させる経営戦略となっています。



三桜工業株式会社

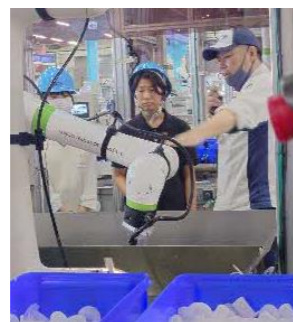
◆ 企業プロフィール

- 自動車配管製品を中核とした自動車部品を製造
- 世界を走る車4台のうち1台には三桜工業の製品を搭載
- 世界18か国・76拠点を持つグローバル企業



◆ 多様性が生む企業の持続的成長

日本本社の社員のうち、約1割が外国籍社員の同社では、「やさしい日本語」の活用や外国籍社員との座談会を通じ、多様な意見を取り入れた経営を行っています。国籍を超えた視点の共有は、グローバルな市場ニーズの把握や組織の変革を促進し、企業の持続的な成長を支えています。



◆ 社員の挑戦を支える社内環境

令和6年度の男性育休取得率91.3%、平均有休取得日数16日以上という実績に加え、社内託児所などの支援体制が整備されています。手厚い支援環境は社員の心理的安全性を高め、責任ある仕事へ挑戦する原動力になるとのことです。常に社員に寄り添う社内環境が、個人の意欲と企業の成長を両立させています。



フォローアップ研修

◆ 企業事例から描く未来像

学生は企業訪問後、フォローアップ研修を受講しました。研修では、企業見学や社員との意見交換で得た知見をレポートとして整理。古河市の第3次男女共同参画プランを参照しながら「なりゆきの未来」と「ありたい未来」を確認しました。多様な企業事例と市施策を関連づけ、地域社会の一員として、市の課題を自分ごととして捉える貴重な学びの場となりました。



レポート発表

◆ 未来を担う学生の視点

ワーク・ライフ・バランス研修において、学生たちは企業訪問レポートの発表を行いました。各訪問先での学びや意見交換を通じ、企業や自治体実践するダイバーシティやワーク・ライフ・バランスの事例を報告。加えて、学生ならではの考察も展開しました。働く現場で得た「生の声」と、学生による「提言」は、研修の議論を深めるための重要な視点となりました。

